

ふじしろ政夫と共に県政・市政を変えよう！

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50
Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

ニュース 2011年3月 号外
TEL & FAX 047-445-9144
ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

東北関東大震災において、亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。
被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

今こそ「悲しみの分かち合い」の社会を！

ふじしろ政夫

3月11日三陸沖を震源とするM9.0 震度7の未曾有の大地震が東北から関東にかけて発生しました。10mを超す大津波も引き起こされ、一瞬にして多くの人々と町全体を流し去ってしまう惨状が生じてしまいました。死者が9,800人以上、安否不明者約2万人…あまりのひどさに言葉も出ません。



何とかしなければ、の気持ちがつのります。消防・警察・自衛隊・行政職員・ボランティア市民や外国からの支援隊が全力をあげて救援活動を展開しています。復興までには時間がかかりそうです。全国民の支援体制をつくっていきましょう

ガソリンが無い、食品が無い、医療品が無いと現地はないないづくし。被災地へ集中的に、優先的に人・物を投入する国の強いリーダーシップが、更に住民の不安をとり去る為に政府、県・市の行政からの正しい適切な情報の提供が求められます。今、全国から支援の手が差しのべられています。困った時まさに「悲しみの分かち合い」=生活を支え合おうとする市民の動き、公共の働きが出てきています。この難局をすべての人々の「悲しみの分かち合いの心と行動」でのりきりましょう！

義援金をお願いします

鎌ヶ谷市は「東北関東大震災の義援金」の受け付けを社会福祉課を窓口を始めました。3/24現在約600万円ほどの現金を窓口で受け付け、日本赤十字社へ届けたとのことです。

私たち市民グループも駅頭などで義援金のお願いを実施し、20万2452円を鎌ヶ谷市役所を通して現地へ送らせていただきました。

ありがとうございます。今後も継続します。

義援金の受付場所:市役所社会福祉課・公民館

図書館・コミセン・社会福祉協議会

※ 振込は直接日赤におねがいます。

名称：東北関東大震災義援金

郵便振替：口座番号 00140-8-507

口座名義：日本赤十字社 東北関東大震災義援金



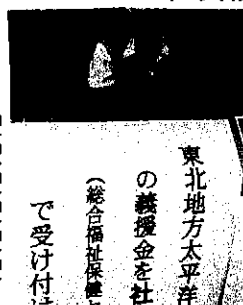
ボランティアを組織しましょう

これから長い期間になるかもしれませんが、全国からの支援・ボランティアの体制が必要となります。現地の態勢が整い次第お互い助け合う活動で支援しましょう。

今はまだ現地には入れない状態が続いています。先般、私たちの仲間が義援金と物資をトラックに積んで行きましたが、いわき市までで海岸部へは行けませんでした。

社会福祉協議会は「災害時相互支援協定」

に基づき県社協の指示に従い間もなく職員・ボランティア市民を派遣するとのことです。3/25現在、義援金・援助物資の受付をしています。問合せ先：社会福祉協議会 445-1141(代)



- 県政を市民の手に -



福島原発第一、第二停止

～～放射性物質が飛散～～

福島第一原子力発電所、第二原子力発電所が3/11の地震によって停止。

水素爆発、原子炉格納容器破損と第一原発の1号炉・2号炉・3号炉・4号炉は壊滅的状況。原発から20K範囲は避難指示、20～30Kが屋内退避とされ、チェルノブイリ一歩手前です。

炉の改修の為、建物内に入った作業員は通常の1万倍の放射能で被曝。東京23区の取水口



「金町浄水場」で又千葉県水道の取水口「野菊の里」でそれぞれ、210ベクレル・220ベクレルの放射性物質ヨウ素が検出され“乳幼児は水道水を飲まないように”と指示されました。乳幼児の甲状腺ガン発症は100ベクレルです。又、福島県・茨城県などのハウレン草などの出荷停止が政府から出されました。「安全です。食べても大丈夫」といった政府の説明は何なのか？事故の状況、ヨウ素剤について正しい・適切な情報の提供が求められます

井戸水を市民に供給

計画停電



福島原発の停止などで、東京電力の電力が供給不足とのことで「計画停電」が実施されています。鉄道の運休・店舗の早閉めと市民生活に大きな影響を与えています。

鎌ヶ谷市内でも東鎌ヶ谷などの一部の地域で停電が実施されました。また、一部の病院では停電の可能性もあるので、長時間の手術が行えないので患者さんを自宅待機としたケースもあります。電力が必要な病院、公共施設へ本当に電力を供給できないのだろうか？

東電は電力供給先の見直しをしても、よいのではないかと思われれます。実際の内容は東電が知るのみ・・・。情報公開されていません。

鎌ヶ谷市内の計画停電の細かなグループ化は、東電のホームページ・市役所のホームページを参照してください。

【問い合わせ：市役所 安全対策課 445-1141(代)】

千葉県の状況と対応

3/11の地震で旭市では津波により、又、浦安市・我孫子市などでは液状化によって多くの被害が発生しました。17名の死亡が確認されています。更に県水道における江戸川取水口などで放射性物質ヨウ素を検出しました。

県の対応は「災害対策本部」を立ち上げ、

①県内被災地への支援②義援金（県内被災地）・物資の受付などを始めたとのことです。

他県からの被災者の受け入れは、各市町村の受け入れ活動を案内しているとのこと。

ボランティア活動については、県の社会福祉協議会の活動が紹介されました。

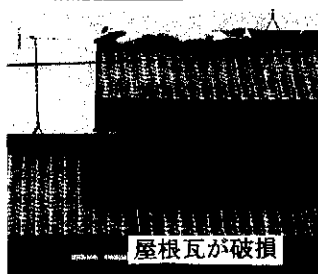
千葉県として、もっと体制を整え県内だけでなく、県外の地域への支援体制をつくりあげていくべきだと思います。又、今回のような危機管理時における情報提供(公開)の悪さを感じます。

鎌ヶ谷市の状況と対応

鎌ヶ谷市は震度5弱。被害状況は軽傷者2名、火災3件、屋根瓦の破損など120件以上、小中学校の窓ガラスなどの施設破損などです。ライフラインに被害はありませんでした。

消防救援隊を3/14には陸前高田に派遣しました(3/20現在延べ34名)

計画停電 鎌ヶ谷市内は第1、第5グループを



基準に分類され、16日から一部地域で停電が発生。計画が「無計画」のケースが多く市民は困惑しています。東電からの正しい情報の提供が求められます。

避難者受け入れ いわき市、郡山市などから避難されてきた方々を、市役所・総合福祉センター内で受け入れています。今後も受け入れ予定(60名可能)で食事は市役所の地下食堂にて対応。

県水道放射性物質 県水道の取水口で放射性ヨウ素が220ベクレル検出されました。市は3/25・26・27 中部小・北部小・五本松小・三中の防災用井戸水を市民に供給しました。